

自立と共生！

たくましい日本！

No. 166号

民主党 中川正春の 永田町かわら版

2002年6月27日

〒100-8981 千代田区永田町2-2-1 衆議院第一議員会館 428号

TEL 03-3508-7128 FAX 03-3508-3428

○国会延長決まる

7月いっぱいまでの攻防に

先週から今日まで、国会が開店休業していました。6月19日の国会最終日をはさんで、防衛庁が情報公開請求者の個人情報リストを作っていた問題がこじれていること。さらに混乱したのが、医療保険の値上げ法案を、与党があせって委員会で単独強行採決をしてしまったこと。この二つが発端です。

ところが、開店休業の最中に、とんでもない話が舞い込んできました。鈴木宗男の逮捕許諾請求です。国会議員を議会の最中に逮捕しようと思えば、国会全体の許可が要るのです。一方で、会期末をひかえ、是が非でも国会の延長をして、医療保険や有事法制に加えて郵政の民営化と個人情報保護法案のうち一つでも二つでも国会を通していきたいというのが、政府与党の思いです。

一旦、寝てしまった国会を、いつの時点で、どういう条件を与党に飲ませて、再び正常化するかという問題は、いつも、一番難しい判断になります。審議ボイコットを長くやりすぎると、「国会議員は、給料ドロボーか。国会で、議論をしないと、おかしいやないか。」という批判。反対にあまりにもスナリと正常化すると、「野党は、へっぴり腰で、悪い法案をどんどん通してしまっ、与党の言いなりやないか。情けない」と、なります。

民主党の熊谷国対は、今回は、ボイコットを長くはしないと判断しました。自由党や共産党は、トコトコやるべしという考えです。せつかくここまで仲良くやってきた野党連携が、どうした事か、国対レベルでケンカをしてしまったようです。20日には、幹事長会談も行われたようですが、話し合いはつかず、今日も本会議には、共産党や社民、自由の席は空席のまま議論が進んでいます。

外務委員会では、外務省の改革や中東、カシミ

○民主党は、そろそろ党首選挙モードへ？

高朋会と言う集まりがあります。民主党の3期までの若い議員で、サロン風に2週間に一回くらい集って情報交換をしています。夕べは、会場に行ったらテレビカメラがいくつも待ち受けていたのでびっくりしました。「皆さん、今度の民主党の党首選挙に若手から候補者を作って、鳩、菅と戦う準備をしているのでしょうか？」と、記者達から元気のいい質問が返ってきました。そろそろ、民主党も、党首選モードに入ってきているのも事実です。

私は、ぜひ若い候補者を作りたいと思っています。そのためには、皆でアジェンダを作ろうと思っています。小泉さんが、「自民党をぶっ壊してでも、改革をやる。」と言い切ったように、私達民主党のしがらみのない新鮮なメンバーが集って、「この国を任せてほしい。再生させて見せるから」と、言って、出てくるような代表候補を作り、選択肢を広げよう。このことです。選挙に参加していただくためにも、皆さん、ぜひサポーターに登録ください。

昨夜の高朋会では、しかし、この高まる気持ちを抑えて(?)、まずは、サッカーの観戦に興じていたのが真相です。テレビ中継で、ブラジルがトルコを下したのを確かめ、「さあ、我々は、次に誰を代表戦の候補者として戦うか。」とやっている具合ですから、まだまだ緊張感が出ていません。これから時間がたつにしたがって、皆の目の色が変わってくることを期待しています。

○北海道と憲法

重い気分の公聴会

憲法調査会の北海道札幌での公聴会。朝9時の飛行機で発ち、その日の夜、8時半には羽田に帰る強行軍でした。

傍聴人のヤジも含めて、「憲法を論じること事態、間違っている。帰れ。」と言った、頑

ルの情勢、中国、北朝鮮問題など、審議する内容は山ほどあります。委員会は今も正常化しないままですが、共産党や自由党などをどのように審議に引っ張り込んで連携を組んでいくか、中川筆頭理事の腕の見せ所です。

固な護憲派の石頭軍団に取り囲まれた感じの公聴会。地元の中川昭一議員が、「遅れている、恥ずかしい。」と思わずつぶやいていたのが印象的でした。

中川 正春